

## 「国有林材の安定供給システム販売(素材)」の結果公表

令和3年3月29日に公告しました「国有林材の安定供給システム販売(素材)」について、「申請書」及び「企画提案書」等を審査した結果、下記のとおり決定しましたので公表します。

### 記

#### 1 システム販売の目的

一定の要件を満たす工場等と近畿中国森林管理局長が国有林材の販売に関する相互協定を締結し、その協定に基づき計画的な販売を実施することにより、国有林材の需要、販路の確保・拡大を図り、併せて地域における中核的な素材流通・製材の担い手の育成、流域管理システムの推進等に資することを目的とし、山元において販売するものです。

また、民有林材と国有林材をあわせた国産材の自給率アップに向けて、原木市場でB材・C材といわれる一般材及び低質材の利用・販路の確保等への取組を支援しています。

#### 2 応募状況及び審査内容

##### (1) 応募状況

番号	関係森林管理署等	公募内容		応募件数	備考
		樹種	数量(m <sup>3</sup> )		
1	三重	スギ・ヒノキ	1,300	1	
2	兵庫	スギ	340	1	取り止め (生産事業入札不調)
3	島根	スギ・ヒノキ	2,990	1	
4	三重	原料材N・L	1,030	3	
5	兵庫	原料材N	830	2	取り止め (生産事業入札不調)
6	島根	原料材N・L	1,370	1	

##### (2) 審査内容

企画提案書等の内容が、①システム販売の対象となる需要者の要件を満たしているか(必須項目)、②企画提案する10項目の取組内容(取組評価点)及び山元購入希望単価(価格点)等について、審査しました。

3 審査結果

番号	協定締結者	企画提案の概要	
		企画提案する取組	山元購入希望価格 スギ・ヒノキ(円/㎡) 原料材N・L(円/t)
1	奈良県桜井市大字戒重137番地 西垣林業株式会社 代表取締役 西垣 雅史	<ul style="list-style-type: none"> <li>・国産材の需要拡大と安定供給を目標に、素材生産技術者の雇用・育成による素材生産力の向上、流通の効率化によるコストの削減、国産材製品の製造・販売を地域との共生において推進していく方針である。また、合板、チップ等の大口需要については、ロットの拡大と安定的な供給に努め、国産材の付加価値の向上と需要の拡大に寄与することとしている。</li> <li>・民有林材と一体として流通させることで、安定的な国産材の供給体制を構築できることで、①協定先の地域木材産業の活性化に寄与、②合板、チップ等の大型需要先の一層の需要喚起、③広域的な流通経費の効率化等が期待できる。</li> <li>・製材工場、合板工場、バイオマス発電所等多様な供給先を確保しており、国有林のシステム販売材を効率的かつ有利に販売できる能力を有していること、また、原木から製品に至る流通経路を有しており、効率的な流通によるコスト削減も期待できること等を通じ、国有林野事業に貢献できるものと考えている。</li> </ul>	<p>平均単価</p> <p>スギ 8,001円</p> <p>ヒノキ 11,515円</p>
3	島根県益田市高津7丁目7番16号 株式会社益田原木市場 代表取締役 阿知波 義雄	<ul style="list-style-type: none"> <li>・原木の適正な仕分けを行い、それぞれの需要者に対して必要な原木を適正な価格で取引する。そのためには、フォークリフト、グラブ、輸送車両の更新を適宜図っていききたい。</li> <li>・大型工場に対して、あらかじめ決められた量と価格で原木を安定供給することで、原木不足が解消し、国産材製品の供給力の不安定さを改善することができる。また、工場の必要な情報を素材生産者と共有することで適材を提供し、付加価値を高めることで無駄を省き、コスト削減に繋がると考える。</li> </ul>	<p>平均単価</p> <p>スギ 7,579円</p> <p>ヒノキ 9,180円</p>
4	奈良県桜井市大字戒重137番地 西垣林業株式会社 代表取締役 西垣 雅史	<ul style="list-style-type: none"> <li>・国産材の需要拡大と安定供給を目標に、素材生産技術者の雇用・育成による素材生産力の向上、流通の効率化によるコストの削減、国産材製品の製造・販売を地域との共生において推進していく方針である。また、合板、チップ等の大口需要については、ロットの拡大と安定的な供給に努め、国産材の付加価値の向上と需要の拡大に寄与することとしている。</li> <li>・民有林材と一体として流通させることで、安定的な国産材の供給体制を構築できることで、①協定先の地域木材産業の活性化に寄与、②合板、チップ等の大型需要先の一層の需要喚起、③広域的な流通経費の効率化等が期待できる。</li> <li>・製材工場、合板工場、バイオマス発電所等多様な供給先を確保しており、国有林のシステム販売材を効率的かつ有利に販売できる能力を有していること、また、原木から製品に至る流通経路を有しており、効率的な流通によるコスト削減も期待できること等を通じ、国有林野事業に貢献できるものと考えている。</li> </ul>	<p>平均単価</p> <p>原料材N 6,000円</p> <p>原料材L 6,000円</p>
6	島根県益田市高津7-6-10 安野産業株式会社 代表取締役 安野 伸路	<ul style="list-style-type: none"> <li>・現在のチップ工場老朽化に伴い、来年度チップ工場の全面的な更新を計画。また、製材工場の一部台車を大径材が挽けるよう大型化する工場をこの5月より開始する。</li> <li>・翌年(2022年)4月津和野町に新規にバイオマス発電所が稼働予定、今年度は造成工事である。この施設に木質バイオマスチップの納入が決定、協定を結んだ。</li> </ul>	<p>平均単価</p> <p>原料材N 3,800円</p> <p>原料材L 4,400円</p>